

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		mico mico安城校		公表日		R8年 3月 1日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	9	0	個別支援と集団活動の空間を分け、集中して取り組めるようにしている。			
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	9	0	利用人数に合わせて職員の配置ができています。			
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	9	0	段差などなく、安全に過ごせる配慮がされている。集中できるような工夫がされている。			
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	9	0	毎日清掃し、清潔を保つことができています。			
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9	0	必要に応じて、個室を使用できる環境になっている。			
業務改善	6 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	9	0	毎日ミーティングを行っている。また、毎月目標を設定し、振り返りを行うことで業務改善に努めている。			
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	0	評価表の実施と合わせ、日ごろから保護者様とやり取りを行い、意向の把握と改善に努めている。			
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	0	評価表の実施と合わせ、日ごろから職員間でやり取りを行い、業務改善に努めている。			
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	9	0	コンサル担当に内部監査を依頼し実施している。			
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9	0	資質の向上のため、定期的な研修を多く取り入れている。			
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9	0	アセスメントツールを活用し、セラピスト間で情報共有を行いながら計画を作成している。			
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	9	0	計画を作成時には会議を行い、全セラピストが内容を把握できるようにしている。			
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9	0	参加できないセラピストは議事録に目を通してもらい、共有している。			
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9	0	全セラピストが同じツールを使っている。			
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9	0	ガイドラインに沿った支援項目を設定し、どのような支援を行うのか具体的に記載し、作成している。			
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9	0	セラピスト間でコミュニケーションを取り合い、プログラムの立案をおこなっている。			
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9	0	同じ内容が続かないよう、様々な視点から話し合っている。また、企画書の活用により、目的や狙いが把握できるようにしている。	集団活動の立案を非常勤を含めた全員で計画していくとさらに良い		

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9	0	アセスメントやニーズに応じた内容で計画を作成している。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	9	0	支援開始前にミーティングを行い、情報共有や役割の把握などについて話し合っている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9	0	支援内容の振り返りや、保護者様からの情報共有を行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	9	0	毎日細かく記録に残している。改善が必要であれば、都度話し合い、改善に努めている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9	0	半年に一度モニタリングを行っている。必要な場合は定期的な面談を実施している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9	0	児童発達支援管理責任者もしくは基礎研修終了者が参加している。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9	0	保育園等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えています。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	9	0	依頼があれば園への訪問や情報提供を行っている。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	9	0	学校への訪問は行ったことがない。	保育所や幼稚園などとの連携が強化できるよう、積極的に情報共有を行って行きたいと考えております。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	9	0		就学相談時にご依頼があれば、支援内容の伝達ができるよう努めてまいります。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。			提携先の機関と連携し、定期的な研修の実施や支援方法について助言を受けている。	
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	9	0	現在、実施していない。	引き続き、提携先の機関と連携し、研修の実施や情報交換を行い、より良い支援の提供を行ってまいります。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	9	0	毎回フィードバックを行い、情報共有を行っている。必要があれば面談の実施を行っている。	保育園幼稚園との交流の機会が持てるように努めて参ります。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。			家庭での支援方法について提案したり、保護者会で研修を実施している。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	9	0	契約時に説明している。		
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9	0	子どもや保護者の意見を尊重し支援計画を作成している。都度、家族の意向を確認している。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。			必ず説明し、同意を得ている。	

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	9	0	フィードバック時に相談があれば都度助言している。保護者様からの要望やこちらから声掛けを定期的に面談を行っている。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9	0	保護者会を実施し、保護者同士が交流できる機会を提供している。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。			相談等があった場合は速やかに日程の確保を行い、セラピスト間でも情報共有を行っている。	
	40	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9	0	毎月一回発行している。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	9	0	個人情報に関しては、鍵付きの棚で管理している。写真等の取り扱いについては、事前に同意を得ている。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。		0	絵カードを使用するなど、伝わりやすい方法を用いて意思疎通ができるように配慮している。	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9	0	現在、実施していない。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	9	各マニュアルを作成し、研修や訓練を行っている。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9	0	定期的な避難訓練等、必要な訓練を実施している。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9	0	契約時に子どもの状態を把握、かかりつけ医等も確認した上で支援を行っている。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	9	0	現在、アレルギーの対応をしている児童がいない。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	9	0	安産計画を作成し、安全管理に努めている。	アレルギーがあるお子様が利用される場合は、医師の診断書に基づき対応させていただきます。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9	0	契約時に説明しております。又玄関に閲覧できるように設置しておりますので参考にしてください。	
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9	0	ヒヤリハットを作成し、セラピスト間で共有している。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9	0	虐待防止の研修を行っている。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9	0	現在、身体拘束を行っている児童はいませんが、事前にやむを得ない場合についての説明は行っている。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	9	0			